

【「2024年問題」トラックドライバーの本音に迫る】75.5%が「労働時間減少による手取り減少」を危惧、約半数が「ライフプラン・保険の見直し」を検討したい

～保険の加入や保障内容の見直しでは、「オンラインで完結する方法」が最も人気に～

Sasuke Financial Lab株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：松井清隆、以下「当社」）が運営する保険の診断・一括比較・見積もりサイト「コのほけん!（<https://konohoken.com/>）」は、「2024年問題に対するトラックドライバーの本音調査」を実施しましたので、調査結果をお知らせいたします。

調査期間は2023年5月15日の3日間で、トラックドライバーを対象に、インターネットリサーチを実施し、106名の有効回答を集計しました。

アンケート調査記事

→ <https://konohoken.com/article/konohoken-research/reports-truck-drivers-20230526/>



【調査背景】

2024年4月より、働き方改革関連法の施行により、ドライバーの時間外労働の上限が月平均80時間に制限されます。ワークライフバランスが取れるようになる一方で、走れる距離が短くなることによる収入減少など「2024年問題」と呼ばれる働く側の懸念点もあります。そこで今回はトラックドライバーの方を対象に、「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」に関する意識調査を実施しました。

【調査結果サマリー】

- トラックドライバーの75.5%が2024年問題による「労働時間減少による手取り減少」を危惧
- 約半数が「ライフプランの見直しや保険加入、保障の見直しを検討したい」と回答
- 保険の加入や保障内容の見直し、「オンラインで完結する方法」が最も人気で33.0%

今回は、トラックドライバーを対象に「働き方改革関連法の施行」や「2024年問題」を調査しました。57.5%の方が長時間労働規制によるメリットを感じる一方で、働き方におけるデメリットとしては75.5%が「労働時間が減るに伴う手取り収入の減少」を考えているとわかりました。

また、ご自身の働き方やライフプランについて51.9%が「収入減少に伴う家計の見直し」を考えたことがあり、保険の加入や保障内容の見直しに関しては、52.8%が「オンラインでの相談・完結」を希望しているということが明らかとなりました。

2024年問題に対する トラックドライバーの本音調査

SUMMARY

TOPIC 01 トラックドライバーの**75.5%**が、
2024年問題による「労働時間減少による手取り減少」を危惧

TOPIC 02 **約半数**が
「ライフプランの見直しや保険加入、保障の見直しを検討したい」と回答

TOPIC 03 保険の加入や保障内容の見直し、
「オンラインで完結する方法」が最も人気で**33.0%**

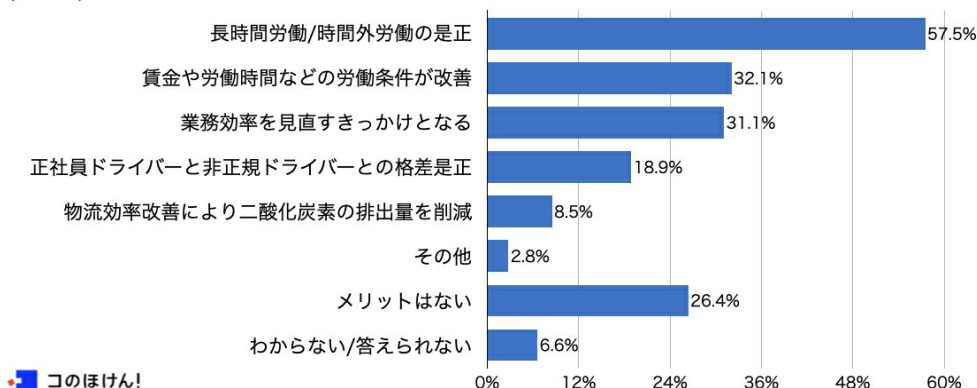
このほけん!

【結果詳細】

Q1. 「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」で、トラックドライバーの働き方はどう変わるとお思いますか。あなたが考えるメリットを教えてください。（複数回答） N=106

- 最多「長時間労働/時間外労働の是正」57.5%

「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」で、トラックドライバーの働き方はどう変わるとお思いますか。あなたが考えるメリットを教えてください。（複数回答）
(N=106)



このほけん!

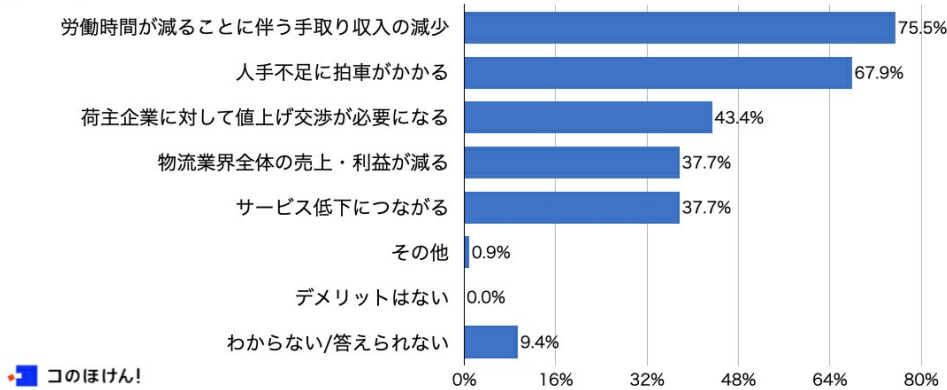
「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」での、トラックドライバーの働き方に関して、「長時間労働/時間外労働の是正」が57.5%、「賃金や労働時間などの労働条件が改善」が32.1%、「業務効率を見直すきっかけとなる」が31.1%という回答となりました。

Q2. 「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」で、トラックドライバーの働き方はどう変わるとお思いますか。あなたが考えるデメリットを教えてください。（複数回答） N=106

- 最多「労働時間が減ることに伴う手取り収入の減少」75.5%

「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」で、トラックドライバーの
Q2. 働き方はどう変わるとお思いますか。あなたが考えるデメリットを教えてください。（複数回答）

(N=106)



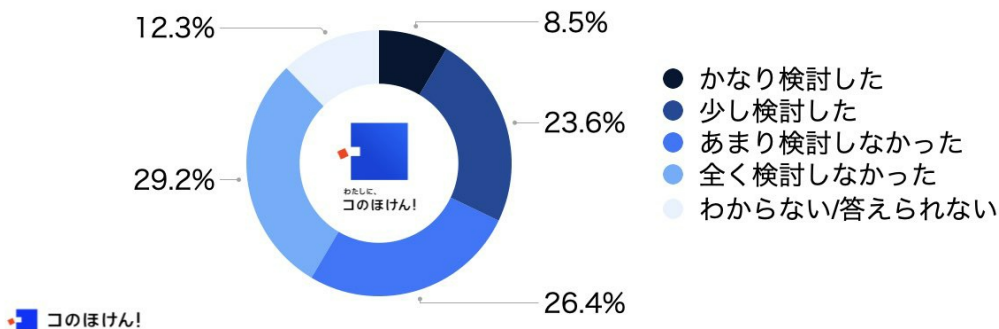
「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」で、トラックドライバーの働き方に対しては、「労働時間が減ることに伴う手取り収入の減少」が75.5%、「人手不足に拍車がかかる」が67.9%、「荷主企業に対して値上げ交渉が必要になる」が43.4%という回答となりました。

Q3. あなたは、業界に変化がありそうな「2024年問題」をきっかけに、転職を検討しましたか。」 N=106

- 最多「全く検討しなかった」29.2%

Q3. あなたは、業界に変化がありそうな「2024年問題」をきっかけに、転職を検討しましたか。

(N=106)



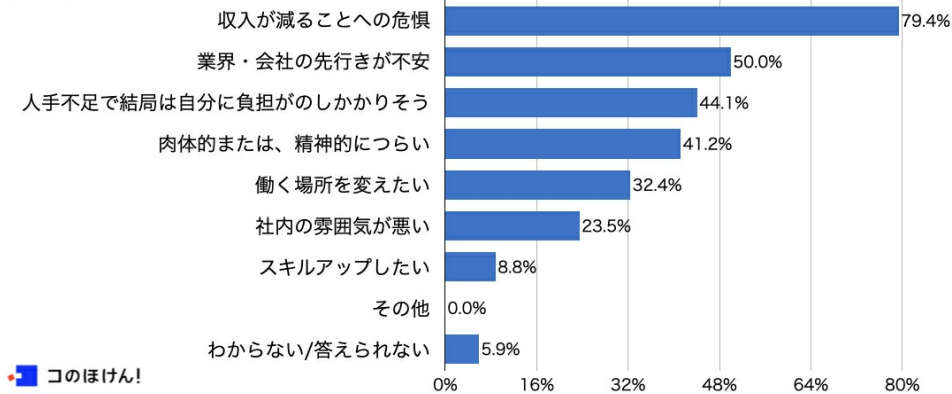
業界に変化がありそうな「2024年問題」をきっかけに、転職を検討しましたかとの質問に対して、「かなり検討した」が8.5%、「少し検討した」が23.6%という回答となりました。

Q4. 「2024年問題」をきっかけに、転職を検討した理由を教えてください。（複数回答） N=34 (Q3で「かなり検討した」「少し検討した」と回答した方のみ)

- 最多「収入が減ることへの危惧」79.4%

Q4. 「2024年問題」をきっかけに、転職を検討した理由を教えてください。 (複数回答)

(N=34)



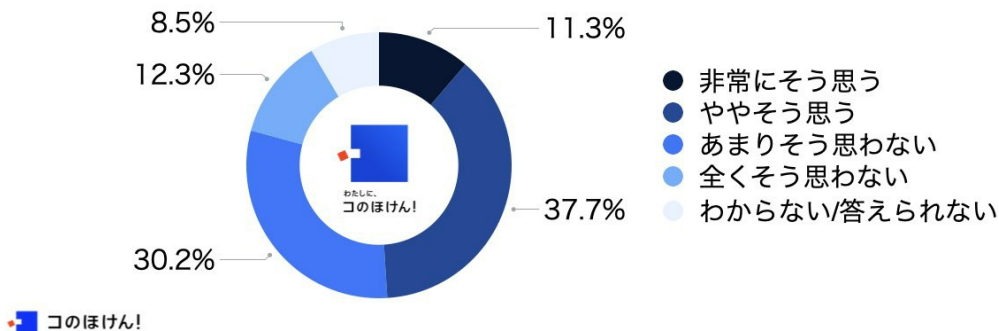
トラックドライバーに「2024年問題」をきっかけに、転職を検討した理由を質問したところ、「収入が減ることへの危惧」が79.4%、「業界・会社の先行きが不安」が50.0%、「人手不足で結局は自分に負担がのしかかりそう」が44.1%という回答となりました。

Q5. 「2024年問題」は、ご自身の働き方やライフプランを見つめ直すきっかけとなりましたか。N=106

- 最多「2024年問題が、自身の働き方やライフプランを見つめ直すきっかけになった」と回答

Q5. 「2024年問題」は、ご自身の働き方やライフプランを見つめ直すきっかけとなりましたか。

(N=106)



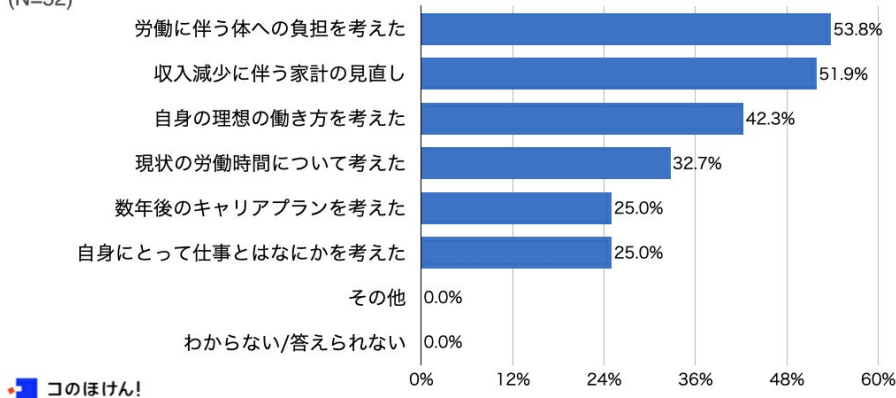
「2024年問題」が、ご自身のライフプランを見直すきっかけとなったかという質問に対しては、「非常にそう思う」が11.3%、「ややそう思う」が37.7%という回答となりました。

Q6. ご自身の働き方やライフプランについて具体的にどんなことを考えましたか。(複数回答) N=52 (Q5で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方のみ)

- 最多「労働に伴う体への負担を考えた」53.8%

Q6. ご自身の働き方やライフプランについて具体的にどんなことを考えましたか。(複数回答)

(N=52)



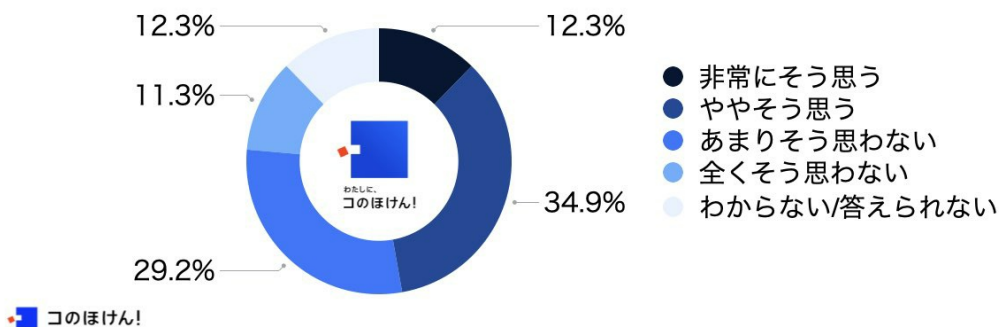
「労働に伴う体への負担を考えた」が53.8%、「収入減少に伴う家計の見直し」が51.9%、「自身の理想の働き方を考えた」が42.3%という回答となりました。

Q7.あなたは、「働き方改革関連法の施行」や「2024年問題」などの社会的な動きに伴って、ライフプランの見直しや保険の加入、保障内容の見直しを検討したいと思いますか。N=106

- 最多「ややそう思う」34.9%

Q7. あなたは、「働き方改革関連法の施行」や「2024年問題」などの社会的な動きに伴って、ライフプランの見直しや保険の加入、保障内容の見直しを検討したいと思いますか。

(N=106)



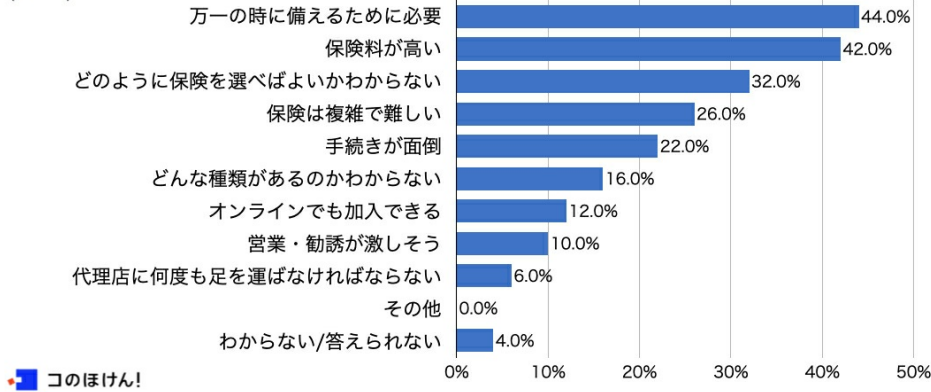
トラックドライバーの、ライフラインの見直し保険の加入を検討したいかどうか、「非常にそう思う」が12.3%、「ややそう思う」が34.9%という回答となりました。

Q8.あなたは、保険の加入や保障内容の見直しに対してどんなイメージを持っていますか。(複数回答) N=50 (Q7で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方のみ)

- 最多「万一の時に備えるために必要」44.0%

Q8. あなたは、保険の加入や保障内容の見直しに対してどんなイメージを持っていますか。（複数回答）

(N=50)



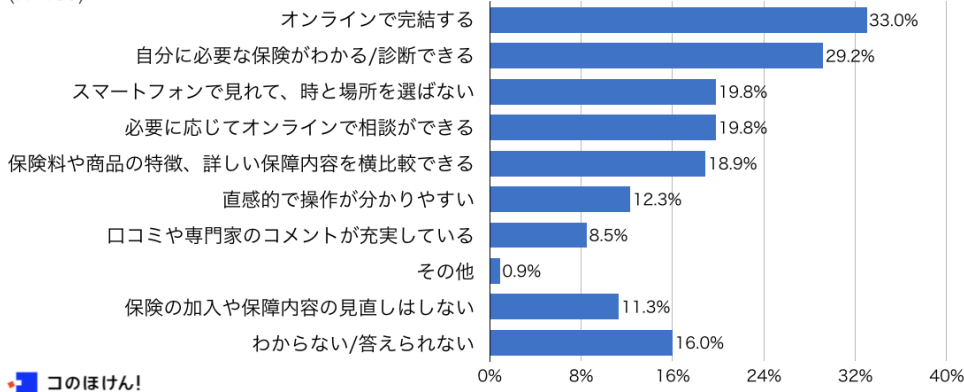
トラックドライバーの、保険に関するイメージは「万一の時に備えるために必要」が44.0%、「保険料が高い」が42.0%、「どのように保険を選べばよいかわからない」が32.0%という回答となりました。

Q9.あなたが、保険の加入や保障内容の見直しを実施すると仮定した場合、どのような方法が理想的ですか。（複数回答） | N=106

- 最多「オンラインで完結する方法」33.0%

Q9. あなたが、保険の加入や保障内容の見直しを実施すると仮定した場合、どのような方法が理想的ですか。（複数回答）

(N=106)



トラックドライバーの理想の保険加入・見直し方法は、「オンラインで完結する」が33.0%、「自分に必要な保険がわかる/診断できる」が29.2%、「スマートフォンで見れて、時と場所を選ばない」が19.8%という回答となりました。

• まとめ

今回は、トラックドライバー106名を対象に、2024年問題に対するトラックドライバーの本音調査を実施しました。

まず、「働き方改革関連法の施行」と「2024年問題」に関して、トラックドライバーは、長時間労働の是正や労働条件の改善、業務効率の見直しといったポジティブな影響を期待する一方で、労働時間の短縮に伴う収入の減少や人手不足、荷主企業との値上げ交渉などのネガティブな影響も懸念していることが分かりました。

また、ご自身の働き方やライフプランについて51.9%が「収入減少に伴う家計の見直し」を考えたことがあり、保険の加入や保障内容の見直しに関しては、52.8%が「オンラインでの相談・完結」を希望しているということが明らかとなりました。

加えて、約半数の回答者にとって「2024年問題」は、働き方やライフプラン、家計や保険の見直しをするきっかけになったようです。中でも、保険に対しては、必要性を感じつつも保険料の高さや選び方が分からないなどの難しさを感じている方が少なくなく、オンラインで完結することや、自分に適切な保険が明確に示されるなどの課題をクリアする必要がありそうです。

今回の調査では、トラックドライバーにとって、「働き方改革関連法の施行」や「2024年問題」は、メリットとデメリット、両方の影響を受けるものとして認識されており、働き方やライフプランの見直しを促す重要なきっかけとなっていることが分かりました。実際の影響は制度が施行されてから実感するようになりますが、ライフプランや保険の見直しなど、今できることから対策し、将来への安心を確保することが大切だと言えるのではないのでしょうか。

【調査概要】

- 調査名：2024年問題に対するトラックドライバーの本音調査
 - 調査主体：株式会社IDEATECH
 - 調査対象：トラックドライバー106名
 - 調査期間：2023年5月15日の3日間
 - 調査方法：インターネットリサーチ
- ※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

■■報道関係者さまへのお願い■■

本リリース内容の転載・利用にあたり、「コのほけん！編集部調べ (<https://konohoken.com/>) 」と表記いただけますよう、お願い申し上げます。

■保険選びをオンラインで完結できる「コのほけん！」とは



コのほけん！

URL : <https://konohoken.com/>

「コのほけん！」は、保険選びをオンラインで完結できるデジタル保険代理店です。保険の見積り・比較・検討・申込まですべてをデジタル化し「自分に合った保険を、自分で選べる世界」を実現します。コのほけん！は直感的に操作しやすく、イラストやインフォグラフィックスを取り入れることで、複雑で分かりづらいと思われがちな保険商品を見やすく、分かりやすく掲載しています。また、口コミや専門家のコメントが充実しておりインターネットがあれば時と場所を選ばず、保険を検討することができます。

コのほけん！では、毎月最新のおすすめ医療保険・人気の商品をランキング形式で紹介しております。気になる商品を比較できる360度比較ページや、医療保険についての基礎知識で保険選びをサポートします。

保険のプロが解説した実践的な選び方ページ

<https://konohoken.com/medical/guide/>

■360度比較

お客様ご自身が納得して保険を選べるよう保険商品の詳細を項目別に表形式で横比較できるページです。

「人気ランキング順」「保険料の安い順」「保険料の高い順」の並び替え、ランキングとの表示切り替えが可能です。（なお、保険会社、商品によって表示されないものもございます。）

医療保険：<https://konohoken.com/medical/compare/>

生命保険：<https://konohoken.com/life/compare/>

がん保険：<https://konohoken.com/cancer/compare/>

女性医療保険：<https://konohoken.com/medical/lady/compare/>

就業不能保険：<https://konohoken.com/disability/compare/>

引受基準緩和型医療保険：<https://konohoken.com/medical/relax/compare/>

定期保険：<https://konohoken.com/life/term-life/compare/>

収入保障保険：<https://konohoken.com/life/family-income/compare/>

終身保険：<https://konohoken.com/life/whole-life/compare/>

介護・認知症保険：<https://konohoken.com/nursing-care/compare/>

自動車保険：<https://konohoken.com/car/estimate/>

ペット保険：<https://konohoken.com/pet/compare/>

■人気の保険ランキング

また、その他の保険商品も下記ランキングから比較、ご検討頂けます。（なお、保険会社、商品によって表示されないものもございます。）

医療保険：<https://konohoken.com/medical/>

生命保険：<https://konohoken.com/life/>

がん保険：<https://konohoken.com/cancer/>

女性医療保険：<https://konohoken.com/medical/lady/>

就業不能保険：<https://konohoken.com/disability/>

引受基準緩和型医療保険：<https://konohoken.com/medical/relax/>

定期保険：<https://konohoken.com/life/term-life/>

収入保障保険：<https://konohoken.com/life/family-income/>

終身保険：<https://konohoken.com/life/whole-life/>

介護・認知症保険：<https://konohoken.com/nursing-care/>

自動車保険：<https://konohoken.com/car/>

火災保険：<https://konohoken.com/fire/>

ペット保険：<https://konohoken.com/pet/>

■コのほけん！プロとは

「コのほけん！プロ」は、SaaS型の販売支援ソリューションツールです。データに基づきお客様のリスクを客観的かつ論理的に可視化することで、保険販売におけるお客様へのニーズ喚起、営業スキル（セールススキル）の効率化、標準化、さらに生産性向上に繋がります。また、お客様は自分のリスクを定量的に把握できることで、ご自身で必要な備えを考えられるようになり、保険加入の納得感向上、顧客体験向上に繋がります。

■Sasuke Financial Lab株式会社について

URL：<https://sasukefinlab.com/>

「自分に合った保険を、自分で選べる世界を」をミッションに、保険はむずかしいものというイメージを払拭し、ネットで気軽に保険に加入できる・見直せるそんな世界を目指しています。個人のお客様にはオンライン保険マーケット「コのほけん！」を展開、保険業界向けには各種システム開発、マーケティング支援の提供を通じ、デジタルを通じ保険をわかりやすく、より簡単に感じられる世界を実現したいと考えております。

■会社概要

会社名：Sasuke Financial Lab株式会社 (<https://sasukefinlab.com/>)

本社所在地：東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル2階 FINOLAB内

設立：2016年3月

代表者：代表取締役 松井 清隆

事業内容：デジタル保険代理店事業、InsurTech事業

デジタル保険代理店「コのほけん！」

WebサイトURL：<https://konohoken.com/>

公式SNS：

Twitter

コのほけん！ <https://twitter.com/konohoken/>

SasukeFinancialLab株式会社 <https://twitter.com/sasukefinlab/>

Facebook

コのほけん！ <https://www.facebook.com/konohoken.sasuke/>

SasukeFinancialLab株式会社 <https://www.facebook.com/sasukefinanciallab/>

Instagram 【毎週金曜日にちょっと役立つ保険の情報を発信中】

<https://www.instagram.com/konohoken/>

YouTube

コのほけん！ <https://www.youtube.com/channel/UCGot8vRDB4rXwoWssHTzP7Q>

SasukeFinancialLab株式会社 https://www.youtube.com/channel/UCkByyiu_huaFKOycO-KyNIA

Sasuke Financial Lab(株)のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/27965

【本件に関するお問い合わせ先】

Sasuke Financial Lab 株式会社

広報担当 西田：050-1754-2090（直通）

メールアドレス：media@sasukefinlab.com